

スケジュール	講演及び出演者プロフィール(順不同)	
9月28日(金) 17:00受付開始 18:00オープニング 青蓮/Aika いときょう先生≪講演≫ 20:30 終了	い と き よ う	 <p>ホツマ出版取締役社長。東洋大学観光学部にてホツマツタエなどのラシテ文献の講義を受け持つ。平成27年度、拓殖大学客員教授として「世界の中の日本」においてホツマツタエの講義を行う。他に朝日カルチャー、伊勢修養団、人間クラブや全国各地でホツマツタエを伝える活動を行っている。著書に「ホツマツタエの旅」「やさしいホツマツタエ」「日本のかほり 漢字伝来以前にあった古代日本の文学と死生観」等多数。</p>
9月29日(土) 5:45 禊体験参加者集合 6:00 禊体験(要申込み) 10:00 宮崎照雄先生≪講演≫ ≪≪ プラネタリウム ≫≫ ↓ 後藤明先生 ↑ 12:00 終了 一移動一遺跡ツアー参加者 ツアー参加者は昼食付き 16:00 17:30 受付	宮 崎 照 雄	 <p>三重県出身。東京大学卒業。三重大学名誉教授。定年を機に若い頃から興味を抱いていた「日本人とは？」を追求するべく日本の古代史を温めることにして「古事記」「日本書紀」「先代旧事本紀」などの古文書を熟読し、理系学者として理系の知識で論考してきた。その成果をまとめた論文「神武は鯨を見たか？—神武東征と神武歌謡を考える」は、平成27年「邪馬台国全国大会in福岡」における論文募集において最優秀賞を受賞。新刊「日向国の神々の聖蹟巡礼」では、古代神話の本舞台は宮崎県北(延岡市・日向市・門川町)であると述べている。著書「三角縁神獣鏡が映す大和政権」</p>
18:00 いにしえステージ 20:00 終了	後 藤 明	 <p>宮城県出身。東京大学で考古学(修士)、ハワイ大学で人類学(博士)。南太平洋を中心とした海洋人類学、天文人類学を専門とする。沖縄海洋博公園内海洋文化館総監修、ディズニーアニメ「モアナと伝説の海」公式パンフレットへの執筆などを行う。日向市にあるNPO法人日本航海協会理事。著作に『海を渡ったモンゴロイド』、『海から見た日本人』、『南島の神話』、『カメハメハ大王』、『天文の考古学』、『世界神話学入門』、他。現在は南山大学人文学部教授</p>
9月30日(日) 6:00 禊体験(申込者5:45集合) 10:00 プラネタリウム 後藤明先生 12:00 終了	時 広 真 吾	 <p>衣装デザイナー/演出家。山口県出身。「文学的な抒情」「風が纏う衣装」と評されるスタイルは独自の感性で生み出される「時広真吾の世界」。マレーシアなど海外や国立劇場、オーチャードホールで分野を越えたパフォーマンスやコラボレーションで注目されている。「美の種」プロジェクトでは社会と芸術を繋ぐ運動を続けている。海外ではオールラウンド・アーティストと呼ばれている。</p>
会場について ①オープニング会場/講演 大御神社/いときょう先生 ②宮崎照雄先生(講演) 日向市中央公民館第4研 ③後藤明先生(プラネタリウム) 日向市文化交流センター ④いにしえの舞台 大御神社境内 ※雨天時 日向市文化交流センター	青 蓮	 <p>衣装デザイナー時広真吾のパフォーマー名。演技でもダンスでもない「衣装に語らせる」独自の表現形式「装艶」の創始者。2011年、マレーシアでデビュー。ドラマチック古事記のヨモツカミ、オオヤマツミノの神。大阪門真市の三島神社境内の樹齢1200年の薫蓋樟の精、宮崎県椎葉村では鶴富姫と奈須大八郎の魂を結ぶときの精霊を果たす。「登場した途端、場の空気を変える」と言われている。</p>
お知らせ≪重要≫ ★プラネタリウム 完全事前予約制 プラネタリウム専用申込み先 0982-52-1921tel/fax ★遺跡ツアー1500円昼食付 事前予約必要(定員40名) プラネタリウム以外の申込み先 0982-52-0130(FAX専用) 090-8627-7935(松木) 090-9563-4573(鈴木) 090-5742-6954(一政) ★FAX申込用紙あり(中面) ★詳細は中面をご覧ください	A i k a 橋 本 恵 子	 <p>サウンドセラピスト/歌手・作詞・作曲/心音道講演家。兵庫県出身。国内外で50万人が涙した「魂に響く魔法の声」とされ、アジア、ヨーロッパ、アメリカ各国で日本の伝統美と言霊、音魂を伝え高く評価されている。大震災の直後に福島や熊本でチャイルドサポートを立ち上げ被災地で心身の癒しと再生に尽力。伊勢神宮・出雲大社式念遷宮をはじめ全国各地の神社、仏閣で平安を祈りご奉納を続けている。オペラ、ミュージカルにおいても主要役を務める。これまでにCD22枚DVD書籍を発売。CDムック「魔法の声」「あなたの声は幸せを運ぶ風になる」</p>
チケット代金について 場合は合計金額から500円割引とさせていただきます(4,000円→3,500円)遺跡ツアーは除きます。小学生割引はございません	高 野 巧	 <p>新潟佐渡島出身。佐渡島で創設された和太鼓集団「鬼太鼓座」に参加し精神性・肉体性・音楽性の三位一体を目指して笛や太鼓、踊りなどに研鑽を積む。舞台ではフル・マラソン2時間30分の走力を買われて篠笛を担当。現在は姫路市に在住し、太鼓は人と人とのアンサンブルでより響き渡るもの、地をほう低音は生きる活力を、空を裂く高音は夢と希望を人々に与えてくれるものと信じて演奏活動をしている。</p>

スケジュール	講演及び出演者プロフィール(順不同)	
<p>9月28日(金)</p> <p>17:00 受付開始</p> <p>18:00 オープニング 青蓮/Aika いときょう先生</p> <p>20:30 終了</p>	<p>いときょう</p> 	<p>講演及び出演者プロフィール(順不同)</p> <p>ホツマ出版取締役社長。東洋大学観光学部にてホツマツタエなどのラシテ文献の講義を受け持つ。平成27年度拓殖大学客員教授として「世界の中の日本」においてホツマツタエの講義を行う。他に朝日カルチャー、伊勢修養団、人間クラブや全国各地でホツマツタエを伝える活動を行っている。著書に「ホツマツタエの旅」「やさしいホツマツタエ」「日本のかほり 漢字伝来以前にあった古代日本の文学と死生観」等多数。</p>
<p>9月29日(土)</p> <p>5:45 禊参加者集合</p> <p>6:06 禊 (各自朝食)</p> <p>8:00 日向岬散策</p> <p>10:00 宮崎照雄先生 ↕ 後藤 明先生 ↕</p> <p>12:00 終了 一移動一石神山ツアー参加者</p> <p>12:30 昼食(ツアー参加者)</p> <p>17:00 終了 受付</p> <p>18:00 奉納ステージ</p> <p>20:00 終了</p> <p>20:30 交流会(希望者) ※事前申込み必要 2,000円</p> <p>21:30 終了</p>	<p>宮崎照雄</p> 	<p>三重県出身。東京大学卒業。三重大学名誉教授。定年を機に若い頃から興味を抱いていた「日本人とは？」を追求するべく日本の古代史を温めることにして「古事記」「日本書紀」「先代旧事本紀」などの古文書を熟読し、理系学者として理系の知識で論考してきた。その成果をまとめた論文「神武は鯨を見たか？—神武東征と神武歌謡を考える」は、平成27年「邪馬台国全国大会in福岡」における論文募集に於いて最優秀賞を受賞。新刊「日向国の神々の聖蹟巡礼」では、古代神話の本舞台は宮崎県北(延岡市・日向市・門川町)であることを述べている。著書「三角縁神獣鏡が映す大和政権」</p>
<p>会場について</p> <p>①オープニング会場/講演 大御神社/いときょう先生</p> <p>②宮崎照雄先生(講演) 日向市中央公民館第4研</p> <p>③後藤明先生(プラネタリウム) 日向市文化交流センター</p> <p>④奉納ステージ 大御神社境内 ※雨天時 日向市文化交流センター</p>	<p>後藤明</p> 	<p>宮城県出身。東京大学で考古学(修士)、ハワイ大学で人類学(博士)。南太平洋を中心とした海洋人類学、天文人類学を専門とする。沖縄海洋博公園内海洋文化館総監修、ディズニーアニメ「モアナと伝説の海」公式パンフレットへの執筆などを行う。日向市にあるNPO法人日本航海協会理事。著作に『海を渡ったモンゴロイド』、『海から見た日本人』、『南島の神話』、『カメハメハ大王』、『天文の考古学』、『世界神話学入門』、他。現在は南山大学人文学部教授</p>
<p>お知らせ<<重要>></p> <p>プラネタリウムのチケットは 完全事前予約制 専用申込先:0982-52-1921 ★プラネタリウムは翌30日(日) 午前中まで上映</p>	<p>時広真吾</p> 	<p>衣装デザイナー/演出家。山口県出身。「文学的な抒情」「風が纏う衣装」と評されるスタイルは独創的な感性で生み出される「時広真吾の世界」。マレーシアなど海外や国立劇場、オーチャードホールで分野を越えたパフォーマンスやコラボレーションで注目されている。注目されている。「美の種」プロジェクトで社会と芸術を繋ぐ運動を続けている。海外ではオールラウンド・アーティストと呼ばれている。</p>
<p>お知らせ<<重要>></p> <p>プラネタリウムのチケットは 完全事前予約制 専用申込先:0982-52-1921 ★プラネタリウムは翌30日(日) 午前中まで上映</p>	<p>青蓮</p> 	<p>衣装デザイナー時広真吾のパフォーマー名。演技でもダンスでもない「衣装に語らせる」独自の表現形式「装艶」の創始者。2011年、マレーシアでデビュー。ドラマチック古事記のヨモツカミ、オオヤマツミノの神。大阪門真市の三島神社境内の樹齢1200年の薫蓋樟の精、宮崎県椎葉村では鶴富姫と奈須大八郎の魂を結ぶときの精霊を果たす。「登場した途端、場の空気を変える」と言われている。</p>
<p>講演、プラネタリウム、ステージのチケット代金はそれぞれ1000円。全て参加される場合は10%OFF ※遺跡ツアー別途1500円</p>	<p>Aika 橋本恵子</p> 	<p>サウンドセラピスト/歌手・作詞・作曲/心音道講演家。兵庫県出身国内外で50万人が涙した「魂に響く魔法の声」とされ、アジア、ヨーロッパ、アメリカ各国で日本の伝統美と言霊、音魂を伝え高く評価されている。大震災の直後に福島や熊本でチャイルドサポートを立ちあげ被災地で心身の癒しと再生に尽力。伊勢神宮・出雲大社式念遷宮をはじめ全国各地の神社、仏閣で平安を祈りご奉納を続けている。オペラ、ミュージカルにおいても主要役を務める。</p>
<p>講演、プラネタリウム、ステージのチケット代金はそれぞれ1000円。全て参加される場合は10%OFF ※遺跡ツアー別途1500円</p>	<p>高野巧</p> 	<p>新潟佐渡島出身。佐渡島で創設された和太鼓集団「鬼太鼓座」に参加し精神性・肉体性・音楽性の三位一体を目指して笛や太鼓、踊りなどに研鑽を積む。舞台ではフル・マラソン2時間30分の走力を買われて篠笛を担当。現在は姫路市に在住し、太鼓は人と人とのアンサンブルでより響き渡るもの、地をほう低音は生きる活力を、空を裂く高音は夢と希望を人々に与えてくれるものと感じて演奏活動をしている。</p>

スケジュール	講演及び出演者プロフィール(順不同)	
<p>9月28日(金)</p> <p>17:00 受付開始</p> <p>18:00 オープニング 青蓮/Aika いときょう先生</p> <p>20:30 終了</p>	いときょう	 <p>ホツマ出版取締役社長。東洋大学観光学部にてホツマツタエなどのヲシテ文献の講義を受け持つ。平成27年度拓殖大学客員教授として「世界の中の日本」においてホツマツタエの講義を行う。他に朝日カルチャー、伊勢修養団、人間クブや全国各地でホツマツタエを伝える活動を行っている。著書に「ホツマツタエの旅」「やさしいホツマツタエ」「日本のかほり 漢字伝来以前に古代日本の文学と死生観」等多数。</p>
<p>9月29日(土)</p> <p>5:45 禊参加者集合</p> <p>6:06 禊 (各自朝食)</p> <p>8:00 日向岬散策</p> <p>10:00 宮崎照雄先生 ↑ 後藤明先生 ↓</p> <p>12:00 終了</p> <p>一移動一石神山ツアー一参加者</p> <p>12:30 昼食(ツアー参加者)</p> <p>17:00 終了</p> <p>18:00 奉納ステージ</p> <p>20:00 終了</p> <p>20:30 交流会(希望者) ※事前申込み必要 2,000円</p> <p>21:30 終了</p>	宮崎照雄	 <p>三重県出身。東京大学卒業。三重大学名誉教授。定年を機に若い頃から興味を抱いていた「日本人とは？」を追求するべく日本の古代史を温めることにして「古事記」「日本書紀」「先代旧事本紀」などの古文書を熟読し、理系学者として理系の知識で論考してきた。その成果をまとめた論文「神武は鯨を見たか？—神武東征と神武歌謡を考える」は、平成27年「邪馬台国全国大会in福岡」における論文募集に於いて最優秀賞を受賞。新刊「日向国の神々の聖蹟巡礼」では、古代神話の本舞台は宮崎県北(延岡市・日向市・門川町)であることを述べている。著書「三角縁神獣鏡が映す大和政権」</p>  <p>宮城県出身。東京大学で考古学(修士)、ハワイ大学で人類学(博士)。南太平洋を中心とした海洋人類学、天文人類学を専門とする。沖縄海洋博公園内海洋文化館総監修、ディズニーアニメ「モアナと伝説の海」公式パンフレットへの執筆などを行う。日向市にあるNPO法人日本航海協会理事。著作に『海を渡ったモンゴロイド』、『海から見た日本人』、『南島の神話』、『カメハメハ大王』、『天文の考古学』、『世界神話学入門』、他。現在は南山大学人文学部教授</p>  <p>衣装デザイナー/演出家。山口県出身。「文学的な抒情」「風が纏う衣装」と評されるスタイルは独創的な感性で生み出される「時広真吾の世界」。マレーシアなど海外や国立劇場、オーチャードホールで分野を越えたパフォーマンスやコラボレーションで注目されている。注目されている。「美の種」プロジェクトで社会と芸術を繋ぐ運動を続けている。海外ではオールラウンド・アーティストと呼ばれている。</p>
<p>会場について</p> <p>①オープニング会場 大御神社 相霊殿</p> <p>②宮崎照雄先生(講演) 日向市中央公民館第4研</p> <p>③後藤明先生(プラネタリウム) 日向市文化交流センター</p> <p>④奉納ステージ 大御神社境内 ※雨天時 日向市文化交流センター</p>	青蓮	 <p>衣装デザイナー時広真吾のパフォーマー名。演技でもダンスでもない「衣装に語らせる」独自の表現形式「装艶」の創始者。2011年、マレーシアでデビュー。ドラマチック古事記のヨモツカミ、オオヤマツミノの神。大阪門真市の三島神社境内の樹齢1200年の薫蓋樟の精、宮崎県椎葉村では鶴富姫と奈須大八郎の魂を結ぶときの精霊を果たす。「登場した途端、場の空気を変える」と言われている。</p>
<p>お知らせ《重要》</p> <p>プラネタリウムのチケットは完全事前予約制</p> <p>専用申込先:0982-52-1921</p> <p>★プラネタリウムは翌30日(日)午前中まで上映</p>	Aika	 <p>サウンドセラピスト/歌手・作詞・作曲/心音道講演家。兵庫県出身国内外で50万人が涙した「魂に響く魔法の声」とされ、アジア、ヨーロッパ、アメリカ各国で日本の伝統美と言霊、音魂を伝え高く評価されている。大震災の直後に福島や熊本でチャイルドサポートを立ちあげ被災地で心身の癒しと再生に尽力。伊勢神宮・出雲大社式念遷宮をはじめ全国各地の神社、仏閣で平安を祈りご奉納を続けている。オペラ、ミュージカルにおいても主要役を務める。</p>
<p>講演、プラネタリウム、ステージのチケット代金はそれぞれ1000円。全て参加される場合は10%OFF</p> <p>※遺跡ツアー別途1500円</p>	高野巧	 <p>新潟県出身。和太鼓集団「鬼太鼓座」の創設に深く関わり初代座長を務める。欧米を始め世界各地で高い評価を受けバーンシュタインや小澤征爾とニューヨークフィルとの共演など和太鼓の第一人者。また、篠笛の名手でもあり音色は一瞬にして聴衆を幽玄の世界に誘うほど。和太鼓を始め様々な演奏者とのコラボも試み各界に大きな影響を与えている。アマチュアの和太鼓集団の指導にも力を注いでい</p>

